

# 令和8年度当初予算審査抽出事業 調査報告書

(総務生活分科会 No.2)

(所属課, 事業コード) 事業名	(廃棄物対策課 5541) ごみ分別収集事業 <span style="float: right;">※P. 38</span>	
予 算	令和6年度決算額	168,242千円
	令和7年度決算見込額	165,795千円
	令和8年度当初予算額 (案)	173,849千円
<p><b>【事業抽出理由】</b>                  (事業を選定した理由)                  ごみの分別収集は生活に直結する最も身近で重要な課題であり、令和6年度の分別方法の変更や資源化の推進などにより、市民の理解や協力がより重要になっている。                  ごみステーションの管理や分別ルールの徹底、不適切な排出への対応などの課題もあることから、今後の廃棄物処理の進め方を確認する必要があるため、選定した。</p> <p><b>【事業の妥当性】</b>                  (事業の必要性, 費用対効果, 財源の安定性等)                  本事業は、家庭から出るごみを適切に収集・処理し、清潔で安心して暮らせる生活環境を守るために欠かすことのできない事業であり、ごみの減量化や資源化を進めるうえでも重要な取り組みとなっている。                  ごみの分別収集は市民生活に直結する行政の事業であり、今後も継続して取り組む必要がある。また、ごみ袋の有料化などについても、ごみ減量や将来的な処理費用の増加を見据えた検討も必要である。                  このことから、本事業は市民生活を支える重要な取り組みである。</p> <p><b>【調査結果】</b>                  (総括)                  ごみ分別収集事業は市民生活に直結する重要な事業であり、分別方法が変わったことを踏まえ、市民への分別ルールの周知や意識啓発を進める必要がある。                  また、ごみステーションの管理や利用ルールについては地域差や自治会の負担もあることから、市として基本的な考え方を示しながら改善していく必要がある。                  さらに、資源ごみは売払い収入にもつながることから、ごみの減量化とあわせてリサイクルの推進に引き続き取り組むことが重要である。</p>		